

「何となく」からの脱出

「何となく」の問題解決や「何となく」の説明、どう思われますか。「私はこう考えます。なぜなら〇〇だからです。」のように根拠を明確にしなければ、正しい問題解決も納得させる説明もできません。この研修では根拠や筋道を論理的に考える手法を基礎から学びます。

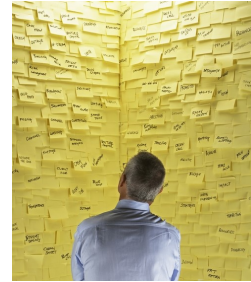
期待される研修効果

ロジカルシンキングとは論理的思考のこと。日本の学校教育は「暗記型の思考」を重視しているために「論理的な思考」を苦手としている人が多く、結果として問題解決や説明を苦手としている人も多いのです。この研修では論理的な考え方を基礎からしっかりと学び、根拠を明確にして筋道を立てて考える技術を身につけます。

対象者 新入社員・若手社員・中堅社員・管理職など

受講人数 20名までを推奨

標準時間 7時間



カリキュラム例

※研修目的・時間数・人数などにあわせてカスタマイズいたします。

時間	科目	内容
9:00 ～9:30	オリエンテーション ／アイスブレイク	目的を明確にし、研修効果を高めるための意識づけを行いません。 ◆研修の目的 ◆ビジネススキルの身につけ方
9:30 ～10:30	ロジカルシンキング に必要な「思考法」	論理的に考えるために必要な2つの思考法について演習を交えて学ぶとともに、脳のウォーミングアップを行います。 ◆ゼロベース思考：固定観念を打破し、考える範囲を広げる(演習) ◆フレームワーク思考：情報を整理し、考えやすくする(演習)
10:30 ～12:00	ロジカルシンキング の基礎	根拠や関連性を明確にする論理的な考え方の中から、とくに重要となるものについて演習をふまえて基礎からしっかりと理解します。 ◆演繹法と帰納法：根拠を明確にする考え方(演習) ◆Why?Why?Why?, SoWhat?：関連性を明確にする考え方(演習)
13:00 ～14:30	ロジカルシンキング の道具(ツール)	ロジカルシンキングにはいくつかの「考えるための道具(ツール)」があり、それらを使いこなすことが上達のポイントとなります。ここでは論理的に考えるために便利な道具(ツール)を学びます。 ◆フロー：一連の流れを明確にする(演習) ◆ロジックツリーとMECE：分解してポイントを明確にする(演習)
どちらかを選択		
14:30 ～16:30	ロジカルシンキング を用いた説明	今回学んだことが実践できるように、効果的な説明のポイントを学んだ上で論理的な技術を用いた説明の演習を行います。 ◆説明とは：わかりやすい説明をするためのポイント ◆説明トレーニング：学んだことを活かして実践する(グループ演習)
14:30 ～16:30	ロジカルシンキングを 用いた問題解決	今回学んだことが実践できるように、問題解決の流れやポイントを学んだ上で論理的な技術を用いた問題解決の演習を行います。 ◆問題とは：問題解決の流れとポイント ◆問題解決トレーニング：学んだことを活かして実践する(グループ演習)
16:30 ～17:00	ロジカルシンキング の実践と宣言	現場でロジカルシンキングを用いる際の手順ややるべきことなどについて事例を通じて学ぶとともに、実行する『宣言』をしていただきます。 ◆実践への活用法 ◆実行宣言

- ロジカルシンキングを身につけるには考え方の基本をしっかりと身につけておく必要があります。このカリキュラムは、その基本についてそれぞれ演習を行いながら少しずつ慣れて理解していく手法をとっており、最後に応用技術を含めた実践での活かし方を解説するので理解度が高まります。
- 最後の内容については「説明力向上」もしくは「問題解決力向上」を選択していただきます。